

平成26年8月 丹波市豪雨災害



お盆の学校閉庁期間が明け、先生方は2学期準備や各担当の出張が多くなっています。

先日、夜間に雷を伴う大雨で目を覚まされた方もいらっしゃったのではないのでしょうか。この時期になると、私は平成26年8月の丹波市豪雨のことを思い出します。当時、台風11号12号が相次いで日本に接近し、台風12号の接近後、本州付近に前線が停滞しました。丹波市では17日午前0時過ぎからこれまでの大雨に加え、線状降水帯が明瞭となり午前4時ごろにかけて次々と発達した雨雲が同じ場所で発達を繰り返し、市島地域では1時間に91mmの猛烈な雨を観測しました。

当時私は、本校の職員で災害後の学校へたどり着いた時には、写真のように学校近く



の川が氾濫し、通学路のフェンスはなぎ倒され、学校回りやグラウンド、通路もいたる所に泥水が溢れていて、どこから手をつければいいのかという状況でした。また、停電・断水が続き、改めてライフラインの大切さを実感しました。



当時の市島・竹田地域の様子や多くのボランティアの方々に復旧に向けて支援いただいたことは今でも鮮明に覚えています。

こうした経験から学んだことを、当時の様子を知らない今の子どもたちにも伝えていきたいと思います。

また、学校統合に向けて準備を進めている前山小学校も竹田小以上の被害があり、当時のことを教訓に両校で現在取り組んでいる防災教育については、統合後も大切にして推進していきたいと考えています。